

第18回 岐阜シンポジウム

# 人間を支援する医学と工学

— 活力ある健康長寿社会をサポートする医工連携の最先端 —

平成22年5月21日(金)

会場：じゅうろくプラザ 2階メインホール

岐阜市橋本町1丁目10番地11 (JR岐阜駅から徒歩2分)

開場：12時30分 開演：13時20分

入場無料・申し込み不要

主催：国立大学法人 岐阜大学

# 第18回 岐阜シンポジウム 人間を支援する医学と工学

— 活力ある健康長寿社会をサポートする医工連携の最先端 —

期日：平成 22 年 5 月 21 日（金）

会場：じゅうろくプラザ 2 階メインホール

開場：12 時 30 分 開演：13 時 20 分

入場無料・申し込み不要

岐阜大学では、「ロボティック先端医療クラスター事業」、「人間科学を基盤とした次世代ヒューマン-マシン・エンジニアリングの創生事業」により、医療・福祉に関する先端基盤技術を蓄積し、平成 22 年 4 月 1 日には、先端医療・福祉支援技術の開発を目的として、医学、工学の研究者が連携する「人間医工学研究開発センター」を設置しました。

大学を核とした産官学共同研究を推進し、高度医療福祉支援技術を実用化することにより、岐阜地域の産業振興及び世界的な高齢化社会対策に貢献します。

本シンポジウムでは、この分野の岐阜大学の研究状況と他研究機関の取組み等を広く皆様にご紹介します。

## ●招待講演

### 美しく、元気に 高齢期を迎えるために

遠藤 登喜子（国立病院機構名古屋医療センター 高度診断研究部長）

日本人の平均寿命は男性 79.29 年、女性は 86.05 年で、世界一の長寿国です。「死ぬまで元気で」は誰しもの願いですが、元気に高齢期を迎えるには、若い時代を元気に乗り越える必要があります。今後も平均寿命の伸びに対する寄与が期待できる女性の悪性新生物にいかに対応すべきかをお話します。

### 30年後の医療介護情報基盤

小山 博史（東京大学大学院 医学系研究科教授）

30 年後日本の総人口は約 1 億人となり高齢化率は 36.5%、75 歳以上の人口は 21.0%（女性の平均寿命 89 歳、男性 82 歳）、65～74 歳までの人口数は 16,382 千人（15.5%）となります。平均寿命の男女差は 7 歳あり単身高齢女性人口が必然的に増加します。本講演では、このような社会情勢において中心となる医療介護分野における新産業分野とは何か、また、それを推進する上で必要となる医工連携について言及します。

## ●パネル展示

### 岐阜大学人間医工学研究開発センターの活動

岐阜大学 人間医工学研究開発センター長

野方 文雄（岐阜大学 工学部教授） 他

## ●プログラム

12:30～13:10 パネル展示

13:20～13:40 開会式

開会挨拶 森 秀樹（岐阜大学 学長）

主旨説明 野方 文雄（岐阜大学 人間医工学研究開発センター長）

13:40～14:30 招待講演

「美しく、元気に 高齢期を迎えるために」

遠藤 登喜子（国立病院機構名古屋医療センター 高度診断研究部長）

14:30～15:00 講演

「コンピュータで体の中を探検しよう！」

藤田 廣志（岐阜大学大学院 医学系研究科教授）

15:00～15:20 休憩&パネル展示

15:20～15:50 講演

「人間のコミュニケーションを支援する情報通信技術」

速水 悟（岐阜大学 工学部教授）

15:50～16:20 講演

「人を元気にする人間支援ロボティクス」

山田 宏尚（岐阜大学 工学部教授）

16:20～17:10 招待講演

「30年後の医療介護情報基盤」

小山 博史（東京大学大学院 医学系研究科教授）

17:10～17:15 閉会式

第18回岐阜シンポジウム実行委員長

川崎 晴久（岐阜大学 工学部教授）

17:15～17:35 パネル展示



遠藤 登喜子



藤田 廣志



速水 悟



山田 宏尚



小山 博史

主催：国立大学法人 岐阜大学 第18回岐阜シンポジウム実行委員長 川崎 晴久（岐阜大学 工学部教授）

後援：経済産業省中部経済産業局 総務省東海総合通信局 岐阜県 岐阜市（社）岐阜県医師会（社）岐阜県歯科医師会

（社）計測自動制御学会中部支部（社）日本機械学会東海支部 医用画像情報学会（社）日本生体医学会東海支部（順不同）

お問い合わせ先：岐阜大学 学術国際部 研究支援課（岐阜市柳戸 1-1 Tel. 058-293-3347）